

皆さん、おはようございます。

今日は4月30日です。新学期が始まってから1ヶ月、この先は連休もまぢかまえています。いま皆さんの「こころ・からだ」の様子はどうでしょうか。先日 of 生徒会総会での皆さんの姿はイギリス議会や国連総会のような雰囲気でもとても素晴らしく感じました。昨日は野球部の皆さんの健闘を少しだけ観戦しましたが、今後 to 皆さんの色々な「こころ・からだ」の様子を見守れることを楽しみにしています。

いまは、おそらく一年の中で最も過ごしやすく、気持ちの良い季節と感じる人も多いと思います。また体育祭にむけた練習や準備も本格化してきていて、新しい仲間も含めた人間関係の楽しさとともに、もしかすると少し難しさも感じているかもしれません。

そこで、今日はまず「事故はおきるものさ」、英語で言うと「Accidents Will Happen」という言葉を皆さんに投げかけてみたいと思います。「事故はおきるものさ」という言葉は皆さんもどこかで聞いた記憶があるかもしれません。私は我が家の長男が子どもの頃に機関車トーマスを一緒に見ながら、とても気になる興味深い歌だと思っていた。

この歌の中では「Accidents happen now and again, when people or trains get smart」とあり、日本語では「人々や列車が賢くなると、ほら事故がおきるよ」となります。また続けて「If you don't concentrate on the thing that you're doing, Accidents will happen just like that!」とされていて「自分がしていることに集中しないと、ほら事故はあっさりおきるよ!」となっています。

ここで再び「ユネスコ憲章」の前文「戦争は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に平和のとりでを築かなければならない」を改めて皆さんに投げかけてみます。この前文の冒頭はとても有名なのですが実は大事なのは、この続きです。それは日本語だけで言うと「相互の風習と生活を知らないことが世界の間に疑惑と不信をおこした共通の原因」であり「この疑惑と不信のためにしばしば戦争となった」とされています。

皆さん、機関車トーマスの歌とユネスコ憲章の前文で何か共通する点に気付くでしょうか。私の解釈としては「賢くなったつもりでも知らないことは誰にでもまだたくさんあるのだから、私たちは皆、自分の心と体の中で学び続けることこそが重要である」です。また、この続きは今後 to 皆さんと時間をかけて考え合っていきたいと思います。自分の心と互いの心、自分の体と互いの体、日々の通学や学校生活、そして体育祭に向けて、皆さんと共に大切に自分自身を見守っていきましょう。